

第6回 HIS (Human-oriented Information System) 研究会 開催報告

研究会主査 川野喜一

■開催日時 2017年7月25日(火) 14:00~16:30

■開催場所 専修大学 神田校舎 7号館 772教室

■出席者 9名

■講演概要

- 森本祥一先生(専修大学 経営学部教授)
- 講演タイトル:「コミュニティと情報システム — 情報システムの視座の可能性」
- 講演概要:「人間関係の本質は情報のやり取りであり、生活の基本にある情報システムは人間活動としてのコミュニケーションである」という情報システム学の考え方にに基づき、講演者らが行ってきた地域コミュニティの再生に向けた活動を振り返り、その効果や意義、情報システム学の適用可能性についてご発表いただいた。
 - ・新潟県南魚沼市辻又集落でのフィールドワークの事例
 - ・集落(限界集落)の情報システム(コミュニケーション)の再生
 - ・地域活性化の事例と課題、地域IoT

■討議概要(質疑応答)

- ・情報システム論からの考察:人間関係の強化、情報のフィードバック、組織のモラルなど。
- ・“情報システム”の視点でコミュニティを捉えた時に地域活性化の課題として何が抽出できたのかの整理と類型化、普遍化が必要。
- ・地域“活性化”の意味・意義:心の活性化と人間の行動。
- ・マクロな地域IoT構想とマイクロな集落の課題とのギャップ

以上